

主な事業の決算額一般会計

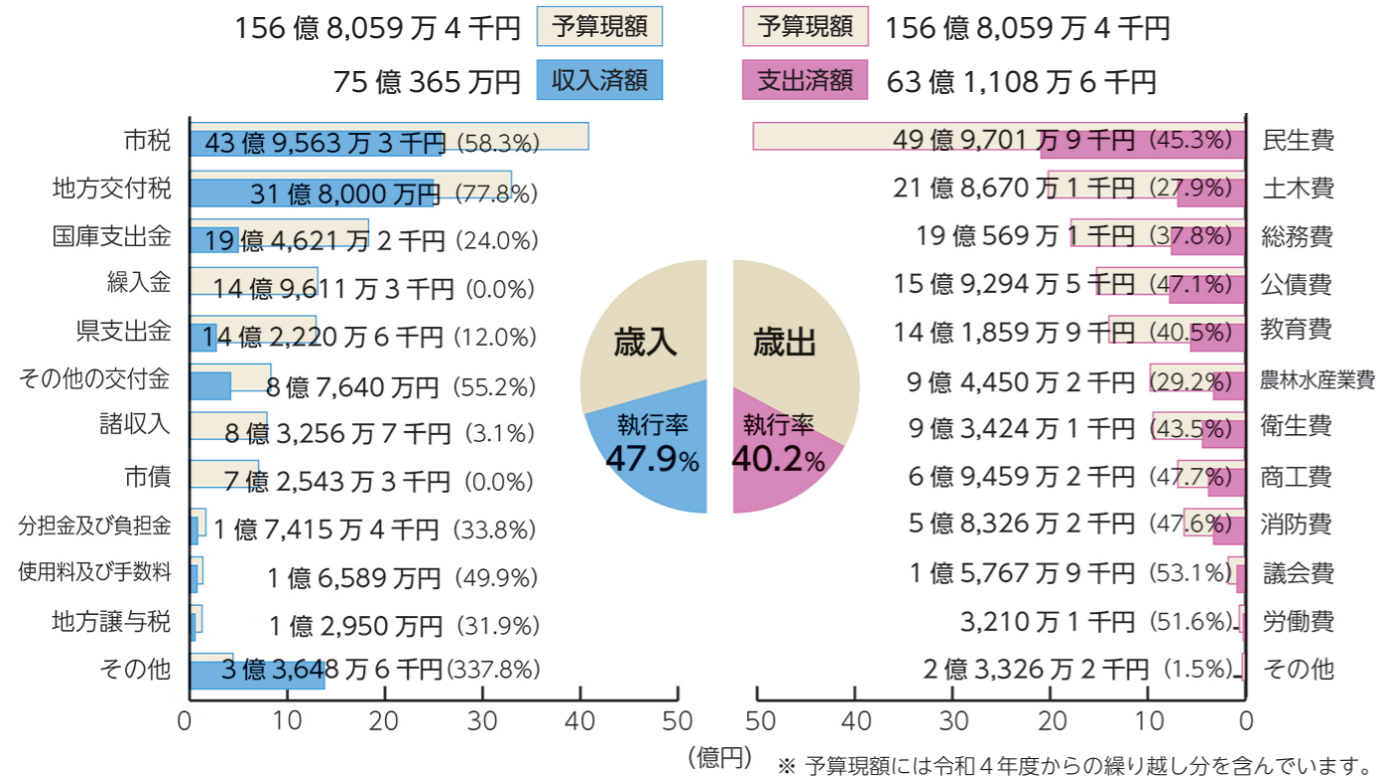
画像は全てイメージです。



令和5年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (令和5年9月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



歳出を目的別で見た決算額と市民1人当たりの決算額

民生費 48億 184万 3千円 (17万 9,676円) 認定こども園運営、 障害者・高齢者福祉など	土木費 41億 5,272万 4千円 (15万 5,387円) 道路、橋、公園、市営 住宅の整備や維持管理など	総務費 17億 1,866万 5千円 (6万 4,309円) 戸籍や住民票の管理、 防犯対策、財産管理など
公債費 15億 6,638万 8千円 (5万 8,611円) 市債(借金)の返済	教育費 13億 8,375万円 (5万 1,778円) 学校、公民館、体育施設 の整備や維持管理など	衛生費 10億 1,485万 8千円 (3万 7,974円) ごみ処理、予防接種、 妊婦・乳児健診など
商工費 9億 7,386万 4千円 (3万 6,440円) 企業誘致、商工業の振興、 観光推進など	農林水産業費 9億 2,675万円 (3万 4,677円) 農林水産業の振興や農道、 排水施設の整備など	消防費 5億 4,821万 2千円 (2万 513円) 消防施設や災害対策など
議会費 1億 5,697万 5千円 (5,874円) 議会の運営	労働費 2,204万 4千円 (825円) 雇用対策、市民への 生活資金融資など	その他 15億 7,306万 2千円 (5万 8,862円) 基金(貯金)への積立金 や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の約4分の1を占めています。これは認定こども園運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護など福祉事業の比重が高いことによります。

歳出決算額(目的別)
188億 3,913万 5千円
市民1人当たりの決算総額
70万 4,926円



※ () 内は1人当たりの決算額。令和5年3月31日現在の住民基本台帳人口(2万 6,725人)で計算しています。

あわら市の健全化判断比率と資金不足比率

区分	健全化判断比率		
	R4	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	(赤字なし)	13.58%	20.00%
連結実質赤字比率	(赤字なし)	18.58%	30.00%
実質公債費比率	7.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率	28.0%	350.0%	(基準なし)

※ 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市に適用される基準です。

資金不足比率

全ての公営企業会計(水道事業会計・公共下水道事業会計)において、資金不足は発生していません。

令和4年度決算に基づく各指標は次のとおりで、いずれの比率も基準以下となっています。



あわら市は
基準をクリア
しています